臨床治験審査委員会 報告書

令和4年9月9日

高松赤十字病院長 様

委員長 外山芳弘 印

開催日時	令和4年9月9日(金) 16:40 ~ 17:55	5
出席者(委)	岡野愛子、西内崇将、大山知代、石川順英、西岡真喜子	² 、村井由紀子、前田秀樹、川西賢治
	 土草洋樹、藤川唯啓	
欠席者	→ │ 外山芳弘、野村容子、髙坂智則、松原文士	
70/13 [・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オブザーバー		
	局 1	会計課 藤川唯啓
前回討議		
進行状況		
	項目	審議結果
報告事項	1 前回臨床治験審査委員会報告書について -	
	2 EAファーマ株式会社の依頼による中等 _	
	症の日本人活動期潰瘍性大腸炎を対象と	
	した E6007 の第 2 相試験について	
	①開発の中止等に関する報告書について お生されました	
	報告されました 1 アムジェン株式会社の依頼による小児乾 ①	R Z-7
	アムシェン株式会社の依頼による小児乾 ①審議結身 	卡:
	スト)の第Ⅲ相試験について	
	2 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会 ①審議結り	具:承認
	社の依頼による掌蹠膿疱症(PPP)患者を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1・承認
	対象とした Spesoil Mad の非自快長期弟	
	① ウム 性性 お 生 に 眼 ナ 7 お 生 妻 杉 担 山 ナ	
	①女主性情報寺に関する報告書が提出さ ④審議結り れ、引き続き治験を実施することの妥	と : 承認
	当性について審議しました	
	②治験に関する変更申請書が提出され、	
	説明文書、同意文書、治験薬概要書の	
	変更についての妥当性について審議しました。	
	3治験に関する変更申請書が提出され、	
	治験実施計画書、その他(治験参加力)	
	ード)の変更についての妥当性につい	
	て審議しました	
	(④治験実施状況報告書が提出され、引き) (また沙陰な鬼族はステトの選出性につ	
	続き治験を実施することの妥当性につ いて審議しました	
	3 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による ①審議結り	■ · 承钧
	中等症から重症の活動期のクローン病	N · 介 □心
	患者を対象とするグセルクマブの有効	
	性及び安全性評価を目的とした第Ⅱ/	
	Ⅲ相、ランダム化、二重盲検、プラセ ボ及び実薬対照、並行群間比較、多施	
	一	
	①安全性情報等に関する報告書が提出さ	
	れ、引き続き治験を実施することの妥	
	当性について審議しました	
	4 (治験国内管理人)IQVIA サービシーズ ①審議結り	具:承認
	ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大 	
	│ │ │ 腸炎患者を対象とした etrasimod の第 3 │	

	相二重盲検試験 (APD334-308 試験) につ	
	いて	
	①安全性情報等に関する報告書が提出	
	され、引き続き治験を実施することの	
	妥当性について審議しました	
_		
5	(治験国内管理人)IQVIA サービシーズ	①審議結果:承認
	ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大	
	腸炎患者を対象とした etrasimod の第 3	
	相非盲検試験 (APD334-303 試験) につい	
	T	
	①安全性情報等に関する報告書が提出	
	され、引き続き治験を実施することの	
	妥当性について審議しました	
6	(治験国内管理人)IQVIA サービシーズ	①審議結果:承認
_	ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大	() 田城和(木、外心)
	腸炎患者を対象とした etrasimod の第 2	
	相無作為化、二重盲検試験(APD334-203)	
	について	
	①安全性情報等に関する報告書が提出	
	され、引き続き治験を実施することの	
	妥当性について審議しました	
7		O + 11/1 = - 1-
7	アッヴィ合同会社の依頼による中等症か	①審議結果:承認
	ら重症の掌蹠膿疱症を有する日本の成人	②審議結果:承認
	被験者を対象とした、リサンキズマブの	少街 战和未、矛心
	第Ⅲ相多施設共同無作為化プラセボ対照	
	二重盲検試験について	
	①安全性情報等に関する報告書が提出さ	
	れ、引き続き治験を実施することの妥	
	当性について審議しました	
	②治験に関する変更申請書が提出され、	
	治験薬概要書の変更についての妥当性	
	について審議しました	
8	マルホ株式会社の依頼による	
0		①審議結果:承認
	nemolizumab の結節性痒疹患者に対する	②審議結果:承認
	第Ⅱ/Ⅲ相試験 一比較/長期継続投与試	⊕ H HW-H N () . Ho
	験- について	
	①重篤な有害事象に関する報告書が提出	
	され、引き続き治験を実施することの	
	妥当性について審議しました	
	②安全性情報等に関する報告書が提出さ	
	れ、引き続き治験を実施することの妥	
	当性について審議しました	
9	MSD 株式会社の依頼による、せん妄の発	①審議結果:承認
	症リスクが高い日本人被験者を対象とし	S 22
	t-	②審議結果:承認
	MK-4305(スポレキサント)の第Ⅲ相試験	
	について	
	①安全性情報等に関する報告書が提出さ	
	れ、引き続き治験を実施することの妥	
	当性について審議しました	
	②治験に関する変更申請書が提出され、	
	治験実施計画書の変更についての妥当	
	性について審議しました	
10		①審議結果:承認
	による、日本人日光角化症を対象とした	
	KX01 軟膏 1 %の第三相試験について	
	①重篤な有害事象に関する報告書が提出	
	され、引き続き治験を実施することの	
	妥当性について審議しました	

	12	アムジャスを MG407 (ア MG407 (P MG4	①審議結果:承認 ②審議結果:承認 ②審議結果:承認 ②審議結果:承認 ③審議結果:承認 (尚、大山委員は審議・採決に参加していない)
経営会議		当性について審議しました	
上申内容			
他委員会部門			
への諮問事項			
備考			